

平成 29 年 11 月 15 日

銚子市

「銚子市再生の緊急改革プラン」の取組実績について(総括表)

(単位:千円)

	最終年度目標額	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成25年度参考値	(実績)	(実績)	(実績)
(1) 歳入の確保	400,000	260,478	762,090	982,531
① 未収金対策	390,000	255,902	696,434	823,713
収入未済額	2,022,852	1,766,950	1,326,418	1,199,139
② 使用料、手数料の適正化	-	-	-	72,544
③ ふるさと納税等の推進	10,000	3,014	65,656	47,474
実収入額(寄附金等-経費)	7,005	10,019	72,661	54,479
④ 施設等市有財産の有効活用	-	1,562	-	38,800
(2) 歳出の削減	600,000	338,255	516,369	784,170
① 事業仕分けの徹底活用	220,000	185,564	238,388	311,606
事業仕分け対象経費の予算額	(H25当初)2,192,255 (H26当初)555,044	2,006,691	1,972,681 536,230	1,919,021 516,672
② 人件費の削減	380,000	152,691	277,981	431,575
職員数(4月1日現在)	702人	681人	664人	643人
③ 行政組織再編による経費削減	-	-	-	40,989
歳入歳出 (計)	1,000,000	598,733	1,278,459	1,766,701
経常収支比率	90.00%	97.00%	93.40%	94.40%

※ 取組実績は、平成25年度参考値((2)①については、事業仕分け実施年度予算額)との差を基に算出した。

「銚子市再生の緊急改革プラン」の取組実績について

(備考) 自己評価の見方

◎・・・目標を上回る成果があったと判断されるもの。

○・・・目標を達成できたと判断されるもの。

△・・・目標を一部達成できていないと判断されるもの。

×・・・目標を全く達成できていないと判断されるもの。

H26～28年度の3年間における目標			所管課	自己評価	これまでの取組実績
具体的方策	基本的な考え方	具体的に取組む事務事業			
未収金対策	右記の取組みについて、費用対効果等を検証し、具体的な工程を示したうえで、実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・強制徴収公債権の徴収困難事案の一元化について、組織編成を含め検討 ・債権回収会社、弁護士等へ催告業務を委託するなどの民間能力活用の検討 ・債権管理に関する基本的ルールと回収不能となった私債権の処理基準を定める債権管理条例の制定 	税務課	○	<ul style="list-style-type: none"> ○債権管理条例の施行(H27.4.1) ○税務課への徴収困難事案の受け入れ態勢強化のため、税務課内に債権管理室を設置(H28.4.1) ○強制徴収公債権の徴収困難事案の一元化の実施 ○債権管理条例に基づく債権放棄(H27年度分債権放棄をH28.9議会に報告) <p>目標額 390,000千円 【効果額実績】(算出根拠 H25収入未済額－各年度の収入未済額) H26年度 255,902千円 H27年度 696,434千円 H28年度 823,713千円</p>
使用料、手数料の適正化	特定の行政サービスを利用する場合には、受益者側がコストを一部負担することにより、サービスの未利用者との公平性を図っているが、この「受益者負担の適正化」を徹底し、併せて「算定方法の明確化」、「減免対象の適正化」を図る。	「使用料・手数料の適正化基本方針」の策定	財政課	○	<ul style="list-style-type: none"> ○先行見直し実施(H28.4.1) <ul style="list-style-type: none"> ①ごみ処理手数料 ②廃棄物処理手数料 ③斎場使用料 ○使用料・手数料設定の基本方針の策定・公表(H29.3月) <p>【効果額実績】 H28年度 72,544千円</p>
ふるさと納税等の推進	効果的なPR方法を検討のうえ、関係方面への働きかけを強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・謝礼品の拡充 ・PR方法の強化 	企画課	◎	<ul style="list-style-type: none"> ○クレジットカード決済の導入(H26.6.2) ○申込フォームの導入(H26.12.1) <ul style="list-style-type: none"> ・申込みからクレジットカード決済まで一連の流れでできるようになった。 ○謝礼品の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・謝礼品対象寄附額を3万円から1万円へ引下げ(H27.1.1) ・謝礼品の数を6品から370品へ拡充 ・新たに追加となった謝礼品 <ul style="list-style-type: none"> 伝統芸能の出張演舞、銚子の伊達巻(ハーフサイズ)、サーフィン体験、お墓のクリーニング、うなぎ、トウモロコシ、バルーンアート ハーフマラソン出場権 など ○PR活動(SNSの活用、メディアへの売り込み) <ul style="list-style-type: none"> ・新聞広告、ふるさと納税特集本、都内電車ドアステッカーなど有料広告への掲載 ・ふるさと納税イベントでのPR ・フェイスブックの活用 ・かもめ～の活用(前年度の寄附者に対する「かもめ～」の送付によるリピーターの獲得) <p>目標額 10,000千円 【効果額実績】(算出根拠 寄附金+基金利子-経費-H25実収入額) H26年度 3,014千円 H27年度 65,656千円 H28年度 47,474千円</p>

「銚子市再生の緊急改革プラン」の取組実績について

(備考) 自己評価の見方
 ◎…目標を上回る成果があったと判断されるもの。
 ○…目標を達成できたと判断されるもの。
 △…目標を一部達成できていないと判断されるもの。
 ×…目標を全く達成できていないと判断されるもの。

H26～28年度の3年間における目標			所管課	自己評価	これまでの取組実績																																				
具体的方策	基本的な考え方	具体的に取り組む事務事業																																							
施設等市有財産の有効活用	施設をはじめ、市が保有している財産について、あらゆる活用方法を検討して財源の確保を図る。	財源確保のため、市有地の早期売却	財政課	△	【H26年度実施分】 ○犬吠埼未利用地の売却(2筆) ○千葉県宅地建物取引業協会との市有地売却媒介協定締結 【H28年度実施分】 一般競争入札による売却(小畑新町2,906㎡) 【効果額実績】 H26年度 1,562千円 H28年度 38,800千円																																				
事業仕分けの徹底活用	平成25年度から平成27年度までの3箇年にわたり実施した事業仕分けでの議論及び仕分け結果を踏まえた対応を着実に実施する。	仕分けの際の市民判代人及び仕分け人からの指摘事項を適切に予算に反映させていく。	財政課	○	目標額 220,000千円 【H26・27・28年度】 効果額(実績) 311,606千円 効果額は各仕分け年度とH28年度予算との比較で算出 ○仕分け人及び市民判代人意見等を踏まえ、各課等へヒアリングを実施 ○ヒアリングに基づく副市長からの指示事項を当初予算へ反映																																				
契約方法の見直し	物品の調達をはじめとする契約方法について、抜本的な見直しを行う。	電子入札による競争入札の拡大	財政課	○	【H26年度実施分】 ○業務委託(役務)について、地域要件等を踏まえ電子入札を一部導入 ○パソコンなどの物品のリース契約において、市内業者を卸売業者として選定することを廃止 【H27年度実施分】 ○H28年度当初から業務を開始する委託等について、これまでの見積合わせによる随意契約方式から債務負担行為を設定し、より競争性の高い競争入札方式で執行 (債務負担行為設定による入札件数 23件) 【H28年度実施分】 ○役務及び物品購入等について、電子入札の本格導入開始																																				
人件費の削減	人口や産業構造が似ている類似団体と比べると職員数が多い本市の状況を踏まえ、「銚子市定員適正化計画」を策定し、アウトソーシングの推進等を通じて、さらに職員数を削減する。	・定員適正化計画に基づく職員数の削減 ・時間外勤務手当の削減	総務課	○	目標額 380,000千円 【効果額実績】(算出根拠 職員の削減数×平均人件費) H26年度 152,691千円 H27年度 277,981千円 H28年度 431,575千円 ○定員適正化計画に基づく職員削減実績 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="5">4月1日現在(人)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員数(計画)</td> <td>702</td> <td>681</td> <td>671</td> <td>661</td> <td>651</td> </tr> <tr> <td>職員数(実績)</td> <td>702</td> <td>681</td> <td>664</td> <td>643</td> <td>640</td> </tr> <tr> <td>計画との差</td> <td></td> <td>0</td> <td>▲7</td> <td>▲18</td> <td>▲11</td> </tr> <tr> <td>前年度との差</td> <td></td> <td>▲21</td> <td>▲17</td> <td>▲21</td> <td>▲3</td> </tr> </tbody> </table> ※ これまでに62人を削減		4月1日現在(人)					年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	職員数(計画)	702	681	671	661	651	職員数(実績)	702	681	664	643	640	計画との差		0	▲7	▲18	▲11	前年度との差		▲21	▲17	▲21	▲3
	4月1日現在(人)																																								
年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																																				
職員数(計画)	702	681	671	661	651																																				
職員数(実績)	702	681	664	643	640																																				
計画との差		0	▲7	▲18	▲11																																				
前年度との差		▲21	▲17	▲21	▲3																																				

「銚子市再生の緊急改革プラン」の取組実績について

(備考) 自己評価の見方
 ◎・・・目標を上回る成果があったと判断されるもの。
 ○・・・目標を達成できた判断されるもの。
 △・・・目標を一部達成できていないと判断されるもの。
 ×・・・目標を全く達成できていないと判断されるもの。

H26～28年度の3年間における目標			所管課	自己評価	これまでの取組実績
具体的方策	基本的な考え方	具体的に取り組む事務事業			
職員の意識改革	求められる職員像を「市民と協働する職員」、「市民や職場から信頼される職員」、「チャレンジ精神を発揮する職員」、「経営感覚あふれる職員」としており、これらを職員に再度徹底し、職員の意識改革を進める。	すべての職員が職場は人材育成の場であることを自覚し、管理監督者は日頃から職場の中で部下や後輩職員を指導育成することを強く意識する必要がある、上司から部下へ、あるいは先輩職員から後輩職員への育成指導を通じて、職員が学び、成長していくことを理解させる。	総務課	△	【H26年度実施分】 ○H26.8 副市長から各部課長に向けて話し合い ○H26.9 職員研修等に関する意識調査の実施 【H27年度実施分】 ○平成27年7月から8月にかけて、人事評価制度導入に係る研修を評価者向けに3回、被評価者向けに15回の計18回実施した。 ○平成27年10月1日から平成28年3月31日までを試行期間とし、本格稼働に向けて実践的な試験運用を実施。 ○試行期間終了後の平成28年1月に全職員を対象に、試行期間中に実施した人事評価制度についてのアンケート調査を実施。
市民、議会、行政の情報共有	行政と市民の双方で情報の発信、受信関係が硬直化することなく、市政に関する正しい情報が、常に共有されるよう努める	効果的な情報発信	秘書広報課 財政課	○	【H26年度実施分】 ○広報、ホームページ等で財政状況のお知らせ 広報の掲載 年4回 ○事業仕分けの実施 9月27日(土) 市民判定人 41人 傍聴人 31人 28日(日) 市民判定人 33人 傍聴人 19人 計 74人 計 50人 ○議員勉強会(平成26年度一般会計決算見込み)の開催(H27.1月) 【H27年度実施分】 ○広報、ホームページ等で財政状況のお知らせ 広報の掲載 年4回 ○事業仕分けの実施 8月30日(日) 市民判定人 37人 傍聴人 30人 ○議員協議会(千葉県による財政運営方針等ヒアリング)の開催(H27.8月) ○市民説明会(行財政改革と地方創生)の開催(H28.2月)約100人参加 ○市民団体の要請に応じ、町内の集会議場で市の財政状況等を説明(H28.3月) 【H28年度実施分】 ○広報、ホームページ等で財政状況のお知らせ 広報の掲載 年4回 ○わかりやすい予算書(H28年度・H29年度)の作成・公表 ○わかりやすい決算書(H27年度)の作成・公表 ○市民ふれあい講座(銚子市の行政改革について)の開催 H28.5月 26人参加 H29.2月 25人参加 ○市政座談会(市政の現状と今後の展望)の開催(H28.11月)41人参加
組織の見直し	組織の簡素化・効率化を進めるため、大胆な見直しの実施。 また、プロジェクトチームの活用や研修の実施により、各部署の相互連携を推進し、柔軟な組織づくりを進めることで、縦割り意識を排除し、事業遂行のスピードをあげながら、職員の自立と組織力の向上を図る。	・7級部長制の導入(現行8級部長制) ・段階的な組織の統廃合の実施 ・7級部長制の廃止 ・部制の廃止	財政課	○	【H27年度実施分】 ○今後3年間の組織再編計画を策定 【H28年度実施分】 ○7級部長制の導入(効果額 4,184千円) ○組織再編 ▲2課▲1室 ○技能労務職員の一元化に伴う委託料等の削減(効果額 36,805千円) 【効果額実績】 H28年度 40,989千円

「銚子市再生の緊急改革プラン」の取組実績について

(備考) 自己評価の見方

◎・・・目標を上回る成果があったと判断されるもの。

○・・・目標を達成できたと判断されるもの。

△・・・目標を一部達成できていないと判断されるもの。

×・・・目標を全く達成できていないと判断されるもの。

H26～28年度の3年間における目標			所管課	自己評価	これまでの取組実績
具体的方策	基本的な考え方	具体的に取り組む事務事業			
公共施設の見直し	全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、最適な配置を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「銚子市公共施設等総合管理計画」の策定 ・施設類型ごとの個別計画(方針)を「銚子市公共施設等総合管理計画」に基づき策定 ・個別計画に基づく公共施設等の再配置、施設の長寿命化を推進 	財政課	△	<p>【H26年度実施分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○銚子市公共施設等総合管理計画策定方針の策定 <p>【H27年度実施分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画骨子の作成(H27.5) ○事業仕分け(施設仕分け)の実施(H27.8) ○公共施設等総合管理計画策定懇談会の開催(3回)(H28.1～2) ○銚子市公共施設等総合管理計画の策定(H28.2)